

12月4日～10日は人権週間

# 第36回 人権フェスティバル



大牟田市「ジャー坊」

2021(令和3)年

## 12月18日土

13:30～17:00 (13:00開場)

会場: 大牟田文化会館

大ホール(不知火町2-10-2)

定員: 先着700人程度

— 知っていますか ハンセン病 —

第1部 開会・講演会 13:30～

入場  
無料

申込  
不要

手話通訳  
あり

要約筆記  
あり



講師 <sup>すけ がわ</sup> **ドリアン助川**さん(作家・歌手)

演題 私たちはなぜ生まれてきたのか?

小説『あん』でハンセン病快復者の人生を描いた意味

【プロフィール】

1962年東京生まれ。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。2019年9月、明治学院大学国際学部教授に就任。

小説『あん』は、河瀬直美監督により映画化され、2015年カンヌ国際映画祭のオープニングフィルムとなる。また、小説そのものもフランス、ドイツ、イタリアなど13言語に翻訳されている。2017年、小説『あん』がフランスの「DOMITYS文学賞」と「読者による文庫本大賞」の二冠を得る。

第2部 映画上映会 15:00～

樹木希林さん 最後の主演作

映画『あん』(113分 字幕あり)



【ものがたり】

緑あってどら焼き屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎(永瀬正敏)。そのお店の常連である中学生のワカナ(内田伽羅)。

ある日、その店の求人募集の貼り紙をみて、そこで働くことを懇願する一人の老女、徳江(樹木希林)が現れ、どらやきの粒あん作りを任せることに。徳江の作った粒あんはあまりに美味しく、みるみるうちに店は繁盛。しかし、心ない噂が、彼らの運命を大きく変えていく…。



©映画『あん』製作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/MAM/ZDF-ARTE

## ホワイエでは♪

羽山台・銀水・上内・吉野小学校の児童による「人権の花(ひまわり)」の観察記録の展示

ハンセン病問題啓発パネルの展示

大牟田市障害者協議会のアンテナショップによる物品販売

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご来場の際は、マスク着用をお願いします。また、今後の感染症拡大の状況によっては、中止する場合があります。その場合は、市のホームページや愛情ねっと等でお知らせします。
- 文化会館の駐車場台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催 大牟田市人権・同和問題啓発推進協議会 共催 大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市人権・同和教育研究協議会

問合せ 大牟田市人権・同和問題啓発推進協議会事務局

(人権・同和・男女共同参画課 TEL 0944-41-2611 FAX 0944-41-2869)